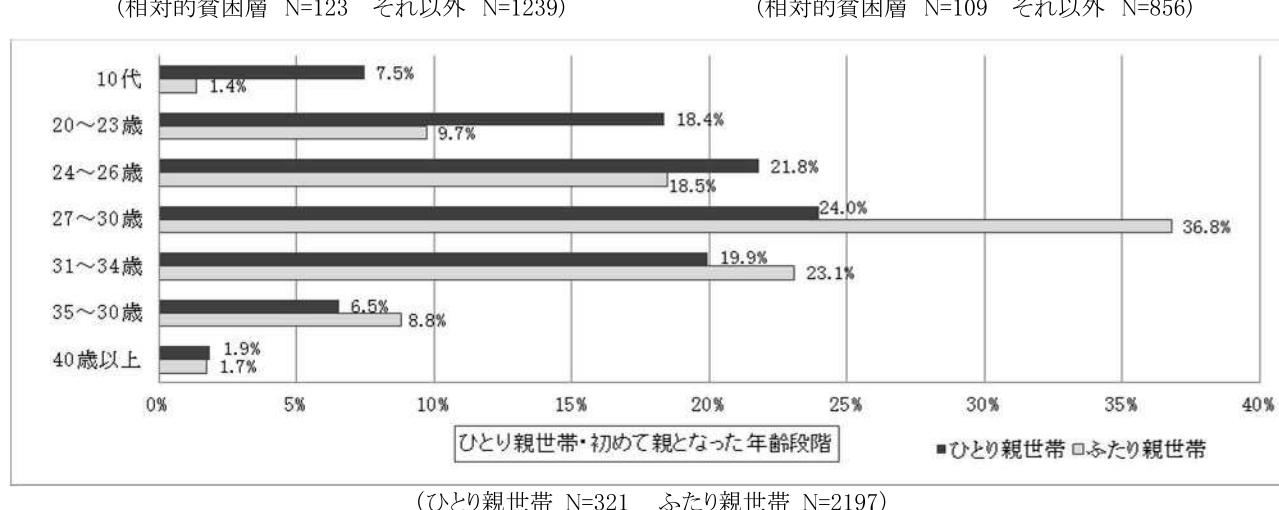
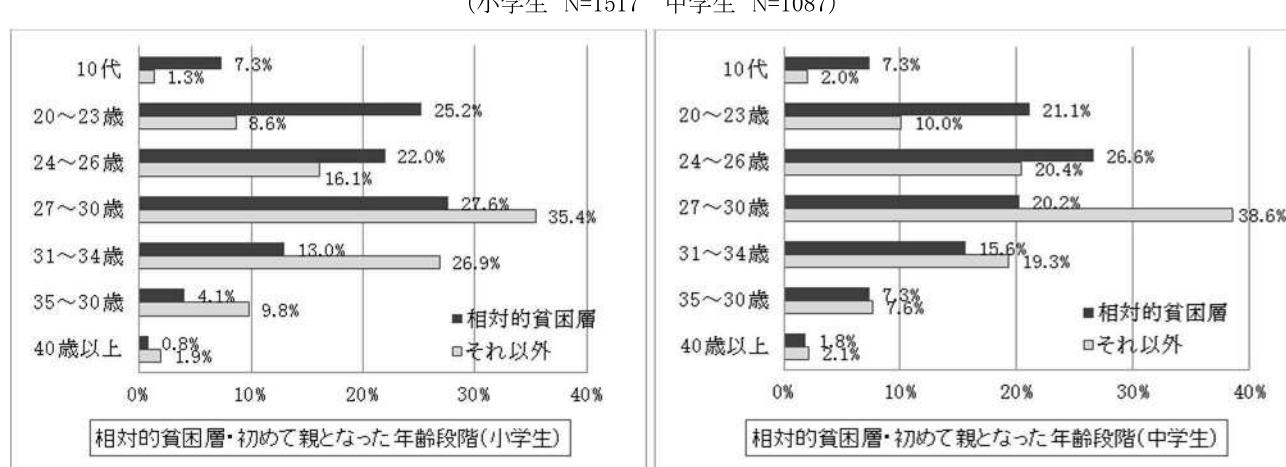
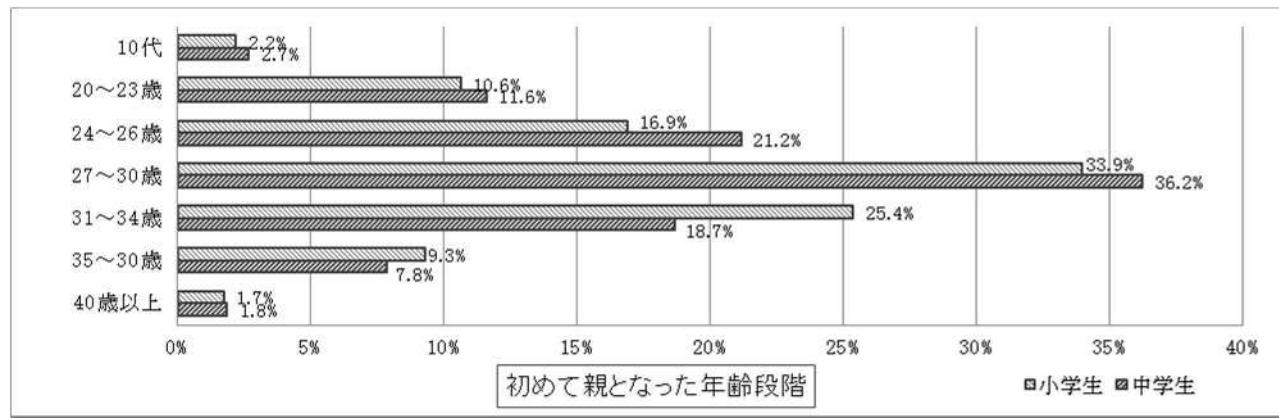


5. 保護者自身のこと

問18 初めて親となった年齢はいくつですか。

小学生、中学生の保護者ともに「27~30歳」がもっとも多い回答で3割以上です。31歳以上と答えた回答は、小学生の保護者で36.4%、中学生の保護者では28.3%であり、26歳以下と答えた回答は、小学生の保護者で29.7%、中学生の保護者では35.5%です。

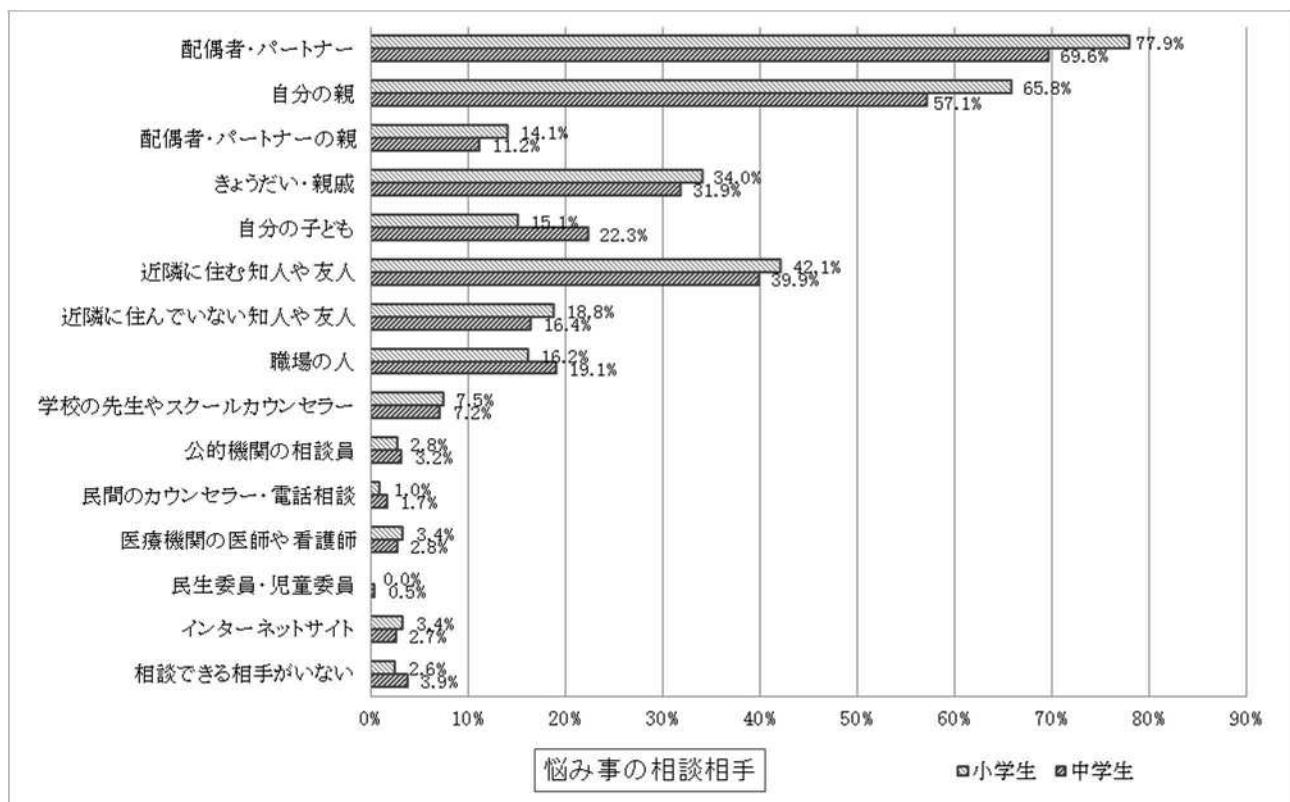
相対的貧困層では小学生の保護者でもっとも多い回答は、「27~30歳」(27.6%)で、「20~23歳」(25.2%)、「24~26歳」(22.0%)と続きます。中学生の保護者ではもっとも多い回答は「24~26歳」(26.6%)、「20~23歳」(21.1%)、「27~30歳」(20.2%)の順です。相対的貧困層では初めて親となった年齢が「それ以外」に比べて若く、特に「10代」と「20~23歳」の割合が高いことがわかります。



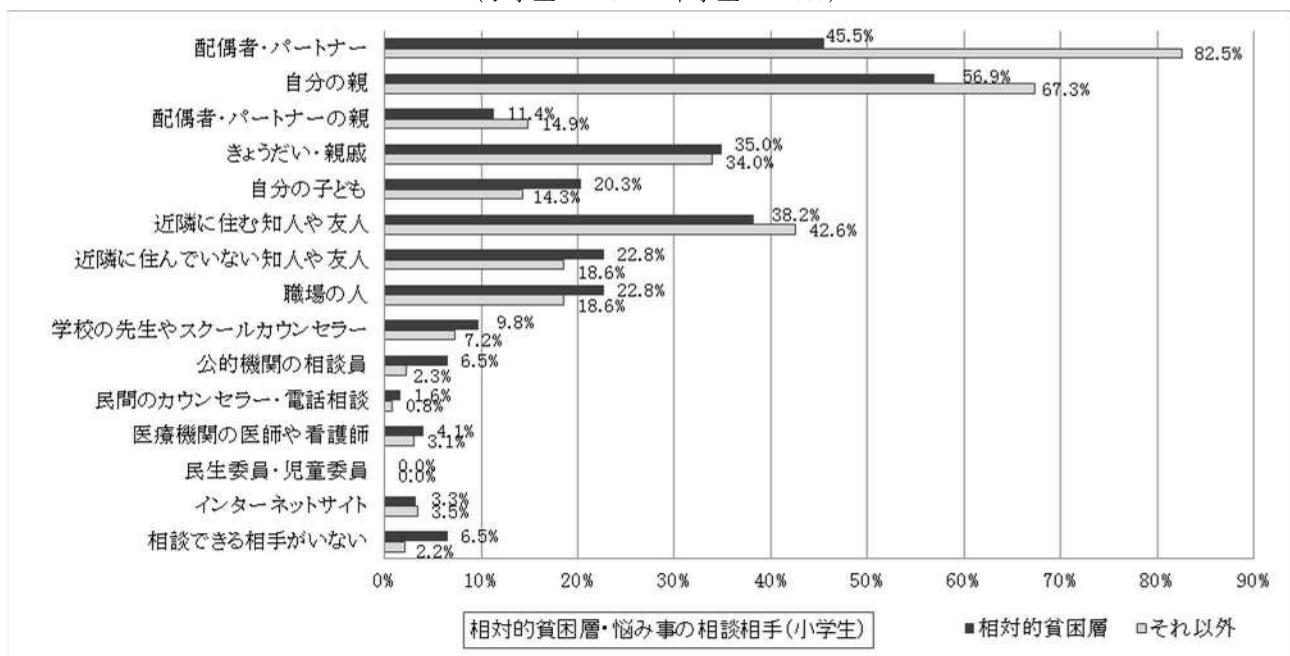
問19 あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、だれに相談しますか（複数回答）

小学生、中学生の保護者ともに回答の多いものから「配偶者・パートナー」、「自分の親」、「近隣に住む知人や友人」、「きょうだい・親戚」の順になっています。全体として、中学生の保護者は小学生の保護者に比べて、相談相手がやや少ない傾向が見られます。

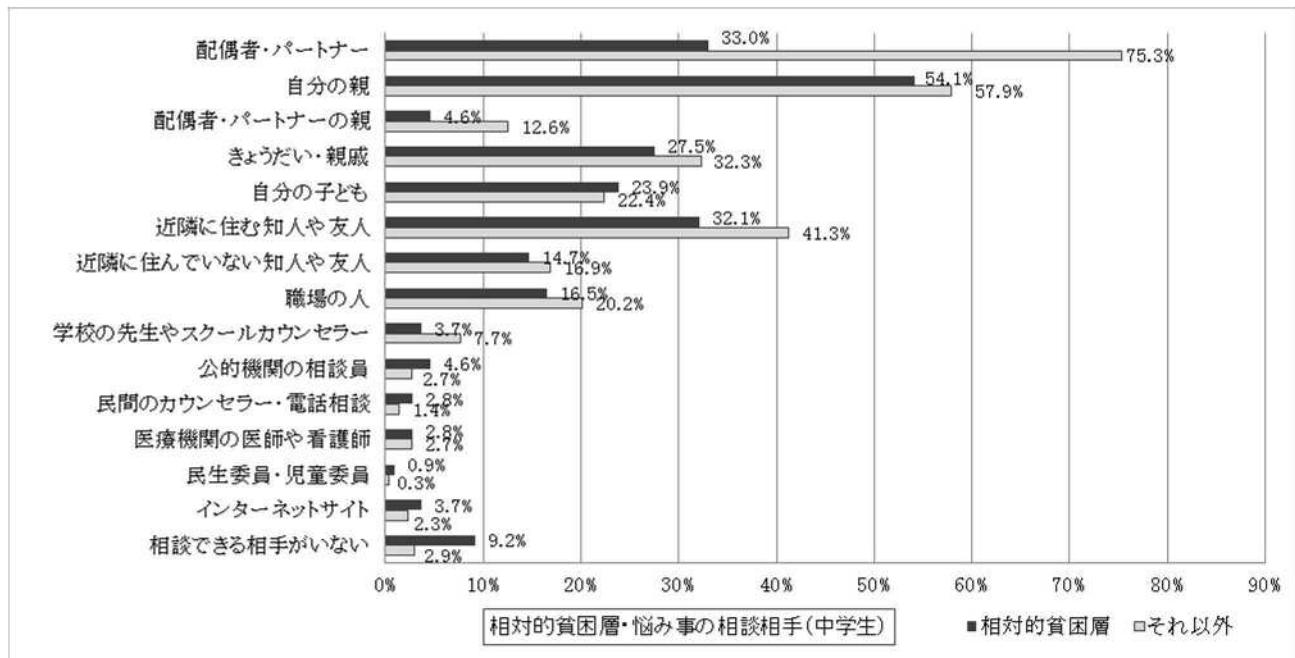
相対的貧困層では、小学生、中学生の保護者ともにもっとも多い回答は「自分の親」で5割半ばです。次いで「配偶者・パートナー」ですが、その割合は、「それ以外」の2分の1程度です。また「それ以外」に比べて多くの項目で回答の割合が低く、相談相手が相対的に少ないとことがわかります。



(小学生 N=1522 中学生 N=1089)



(相対的貧困層 N=123 それ以外 N=1242)

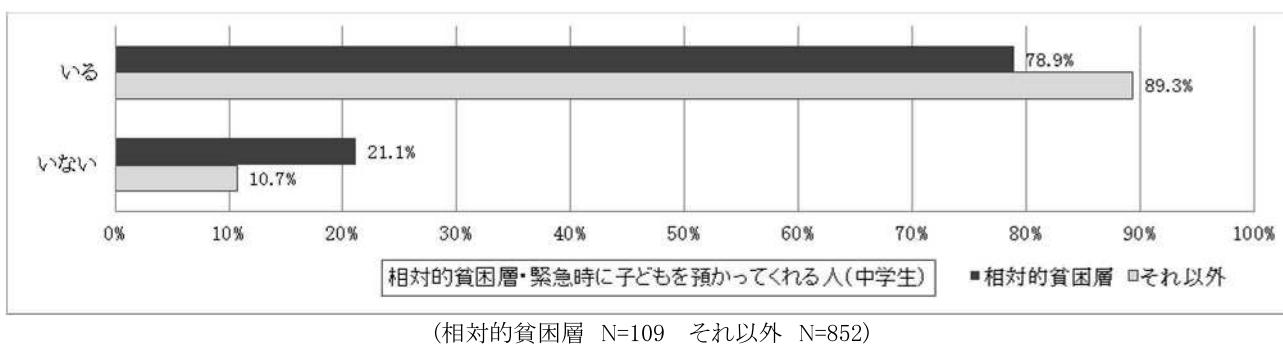
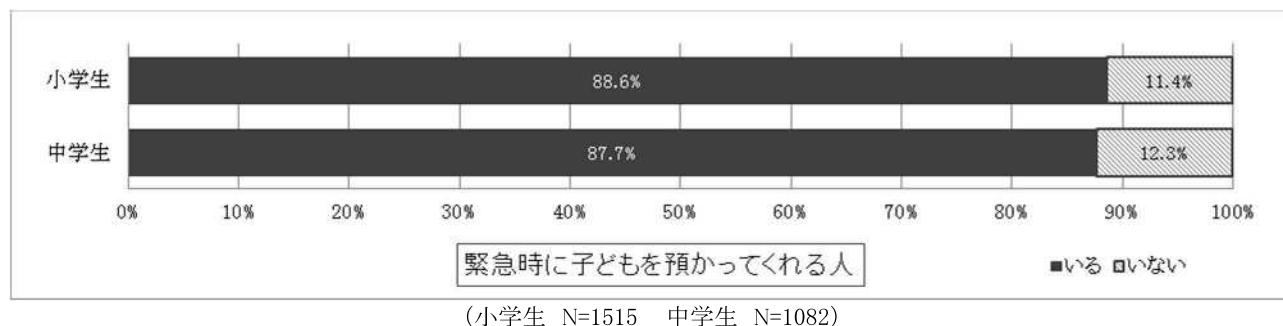


(相対的貧困層 N=109 それ以外 N=858)

問20 あなたには、緊急時に子どもを預かったり、助けてくれる人がいますか。

小学生、中学生の保護者ともに9割弱が「いる」と回答しています。

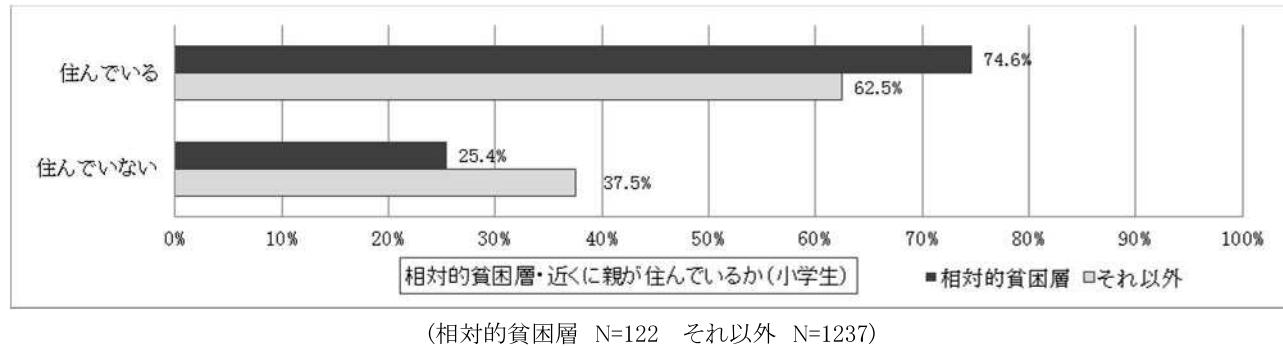
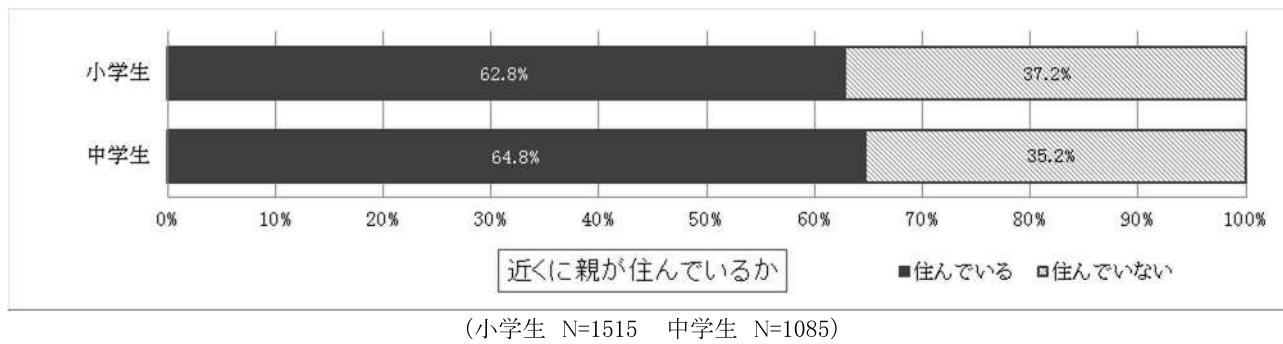
相対的貧困層と「それ以外」の間では、小学生の保護者には統計的な差は見られませんが、中学生の保護者では、「いない」という回答が「それ以外」に比べて2倍多くなっています。



問21 あなたの家の近くに親が住んでいますか。

小学生、中学生の保護者ともに「住んでいる」という回答が6割台です。

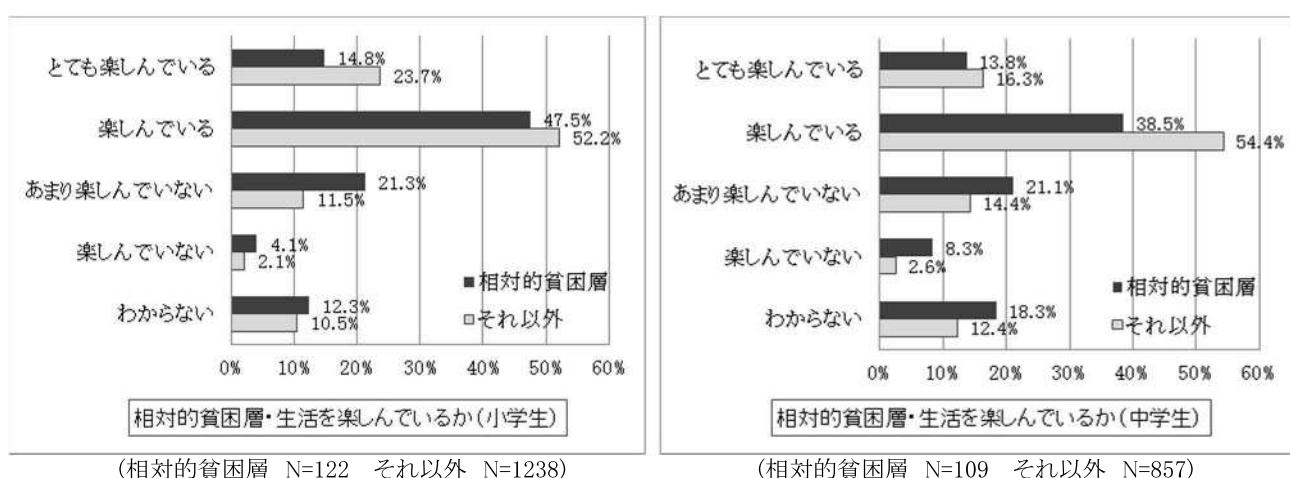
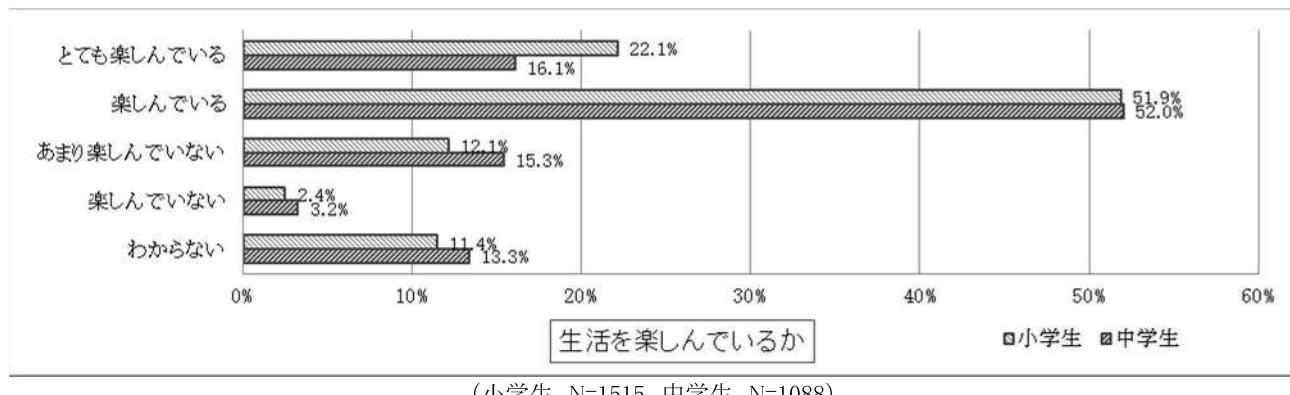
相対的貧困層では、小学生の保護者で「住んでいる」という回答の割合が、「それ以外」に比べ12ポイント高くなっています。中学生の保護者には統計的な差は見られません。



問22(1) 生活を楽しんでいますか。(仕事や家事、育児など)

「楽しんでいる」という回答が、小学生、中学生の保護者ともに5割を超えています。「とても楽しんでいる」という回答の割合が小学生の保護者で高く、「あまり楽しんでいない」と「楽しんでいない」という回答が中学生の保護者で高くなっています。

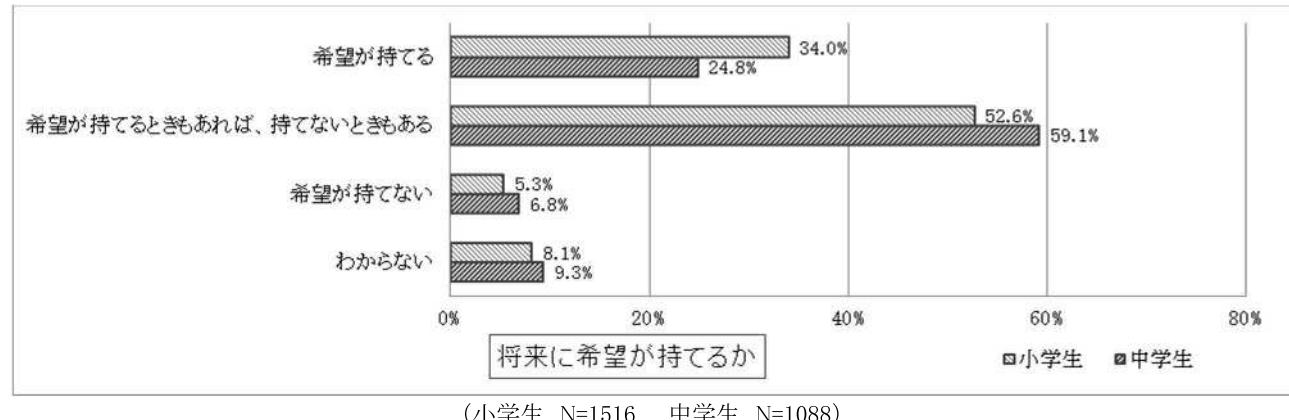
相対的貧困層では、小学生、中学生の保護者ともに「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」の合計の割合は「それ以外」に比べて、13~18 ポイント低いことがわかります。また、「あまり楽しんでいない」「楽しんでいない」という回答の割合が「それ以外」と比べて、高くなっています。



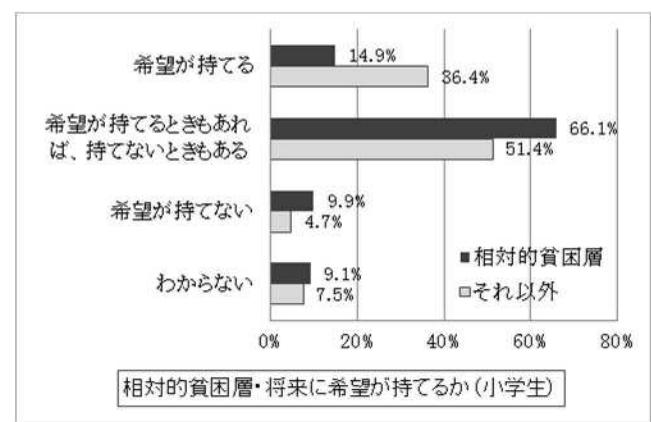
問 22(2) 将来に対して希望を持っていますか。

小学生、中学生の保護者ともに「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」という回答がもっとも多く5割台で、次に多い「希望が持てる」という回答は、小学生の保護者（34.0%）が、中学生の保護者（24.8%）を9ポイント上回っています。

相対的貧困層では、小学生の保護者で「希望が持てる」という回答の割合が「それ以外」に比べて20ポイント以上低くなっています。中学生の保護者でも10ポイント以上低くなっていることがわかります。また、中学生の保護者で「希望が持てない」という回答の割合が「それ以外」に比べて約10ポイント高くなっています。

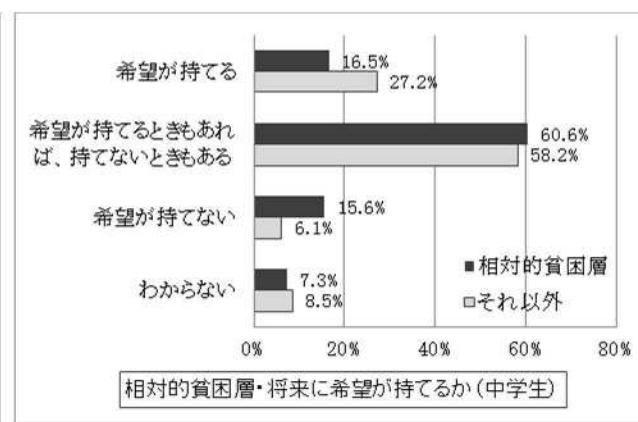


(小学生 N=1516 中学生 N=1088)



相対的貧困層・将来に希望が持てるか (小学生)

(相対的貧困層 N=121 それ以外 N=1239)



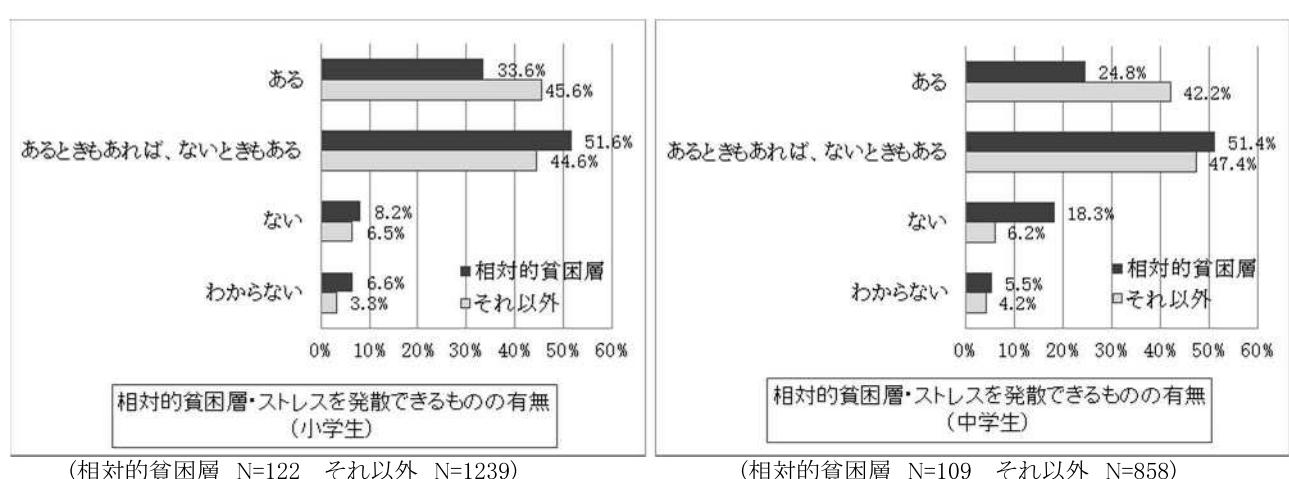
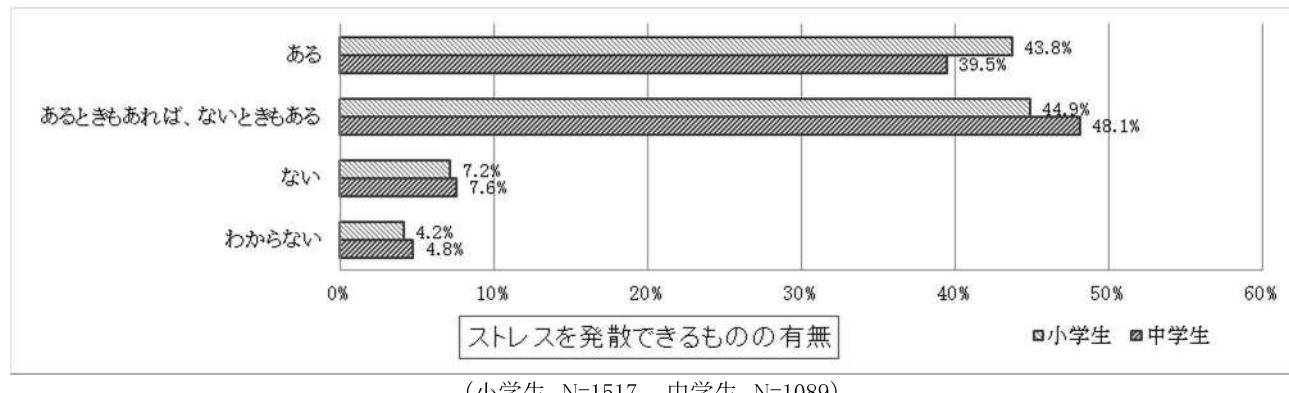
相対的貧困層・将来に希望が持てるか (中学生)

(相対的貧困層 N=109 それ以外 N=857)

問22(3) ストレスを発散できるものがありますか。

小学生、中学生の保護者ともにもっとも多い回答は「あるときもあれば、ないときもある」で、次に多いのが「ある」ですが。

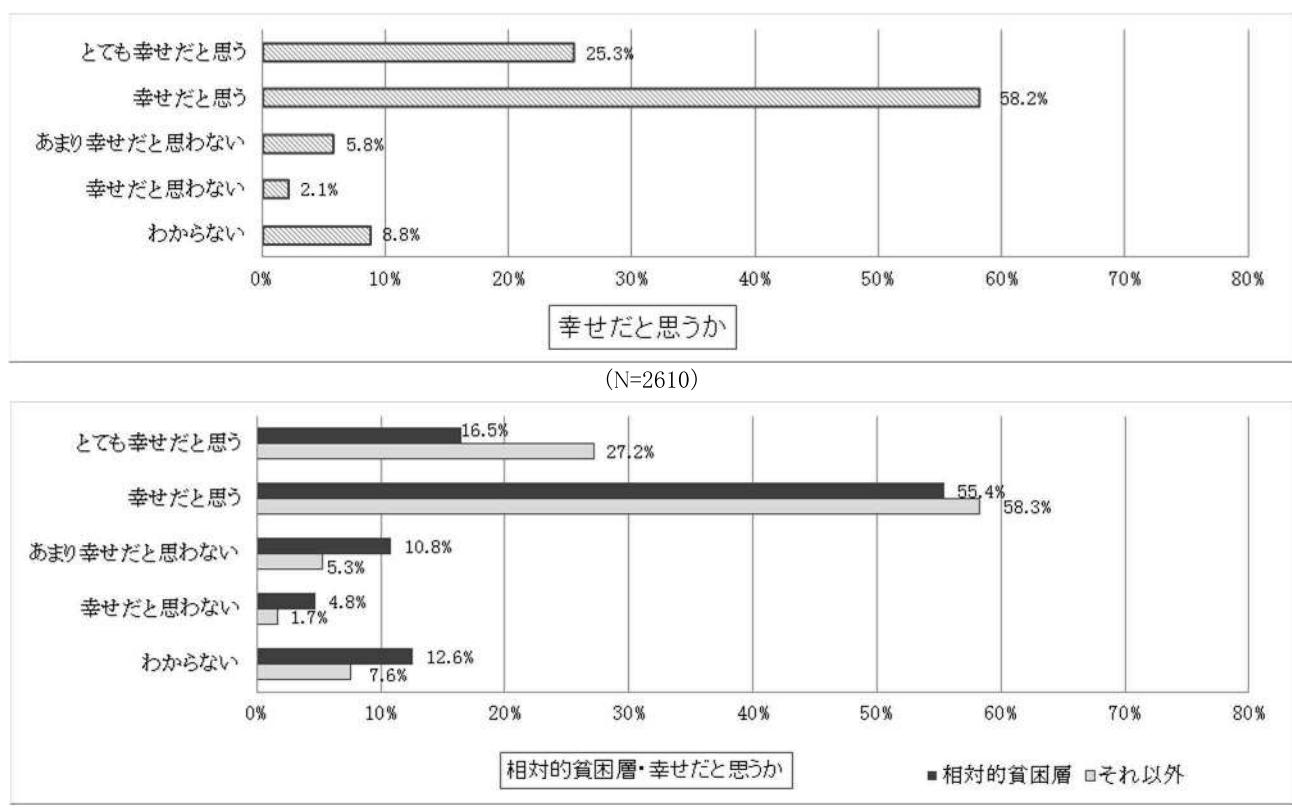
相対的貧困層では、小学生、中学生の保護者ともに「あるときもあれば、ないときもある」という回答の割合がもっとも高く、次に多い「ある」という回答の割合が「それ以外」に比べて低くなっています。とくに中学生の保護者で約17ポイント低く、「ない」という回答の割合が約12ポイント高くなっています。



問 22(4) あなたは、自分が幸せだと思いますか。

「幸せだと思う」という回答が約 6 割で、「とても幸せだと思う」という回答と合わせると、8 割を上回ります。

相対的貧困層では、「とても幸せだと思う」という回答の割合が「それ以外」に比べ 10 ポイント以上低いことがわかります。「あまり幸せだと思わない」「幸せだと思わない」という回答は「それ以外」に比べ高くなっています。



保護者票の問22にある4つの質問に対する回答結果と、子ども票の自己肯定感にかかわる6つの項目に対する回答結果との相関関係をピアソンの相関係数に注目して調べると、下の表のとおり、2つの質問の回答の間には相関が見られます。

保護者の「生活を楽しんでいる」、「将来に対して希望をもっている」という回答は、小学生の「自分にはよいところがある」、「がんばれば、いいことがある」、「家族は自分を大切してくれている」、「自分は友だちから好かれている」、「大人は信用できる」という回答と強い相関があります。同じ質問項目群では、保護者の回答と中学生の回答の間にも、同様の相関が見られます。「ストレスを発散できるものがある」「自分が幸せだと思います」(保護者)と小学生の自己肯定感の間にも相関が見られます。

保護者の回答と中学生の回答との間に相関関係が見られる項目は、小学生に比べると少ないことがわかります。

ピアソンの相関係数(保護者×小学生)

子ども票 問24 保護者票 問22		① 自分にはよいところがある	② 自分には将来の夢や目標がある	③ がんばれば、いいことがある	④ 家族は自分を大切してくれている	⑤ 自分は友だちから好かれている	⑥ 大人は信用できる
(1) 生活を楽しんでいますか。(仕事や家事、育児など)	Pearson の相関係数	.140**	.053*	.109**	.090**	.135**	.111**
	有意確率(両側)	0.000	0.041	0.000	0.001	0.000	0.000
	度数	1499	1501	1500	1495	1485	1496
(2) 将来に対して希望を持っていますか。	Pearson の相関係数	.119**	.061*	.091**	.080**	.108**	.082**
	有意確率(両側)	0.000	0.019	0.000	0.002	0.000	0.001
	度数	1499	1501	1500	1495	1485	1496
(3) ストレスを発散できるものがありますか。	Pearson の相関係数	.069**	0.037	0.037	.053*	.084**	.075**
	有意確率(両側)	0.008	0.154	0.148	0.040	0.001	0.004
	度数	1500	1502	1501	1496	1486	1497
(4) あなたは、自分が幸せだと思いますか。	Pearson の相関係数	.108**	0.015	.051*	.096**	.072**	0.044
	有意確率(両側)	0.000	0.560	0.049	0.000	0.006	0.086
	度数	1499	1501	1500	1495	1485	1496

**, 相関係数は 1% 水準で有意(両側)です。

*. 相関係数は 5% 水準で有意(両側)です。

ピアソンの相関係数(保護者×中学生)

子ども票 問26 保護者票 問22		① 自分にはよいところがある	② 自分には将来の夢や目標がある	③ がんばれば、いいことがある	④ 家族は自分を大切してくれている	⑤ 自分は友だちから好かれている	⑥ 大人は信用できる
(1) 生活を楽しんでいますか。(仕事や家事、育児など)	Pearson の相関係数	.074*	-0.029	.064*	.073*	.146**	.110**
	有意確率(両側)	0.015	0.345	0.034	0.017	0.000	0.000
	度数	1077	1080	1076	1077	1071	1075
(2) 将来に対して希望を持っていますか。	Pearson の相関係数	.109**	.066*	.093**	.079**	.077*	.082**
	有意確率(両側)	0.000	0.029	0.002	0.009	0.012	0.007
	度数	1077	1080	1076	1078	1071	1075
(3) ストレスを発散できるものがありますか。	Pearson の相関係数	0.022	-0.038	0.023	0.001	0.048	0.032
	有意確率(両側)	0.462	0.216	0.449	0.974	0.114	0.298
	度数	1078	1081	1077	1078	1072	1076
(4) あなたは、自分が幸せだと思いますか。	Pearson の相関係数	.061*	-0.009	0.031	.106**	.093**	.073*
	有意確率(両側)	0.047	0.759	0.309	0.001	0.002	0.016
	度数	1078	1081	1077	1078	1072	1076

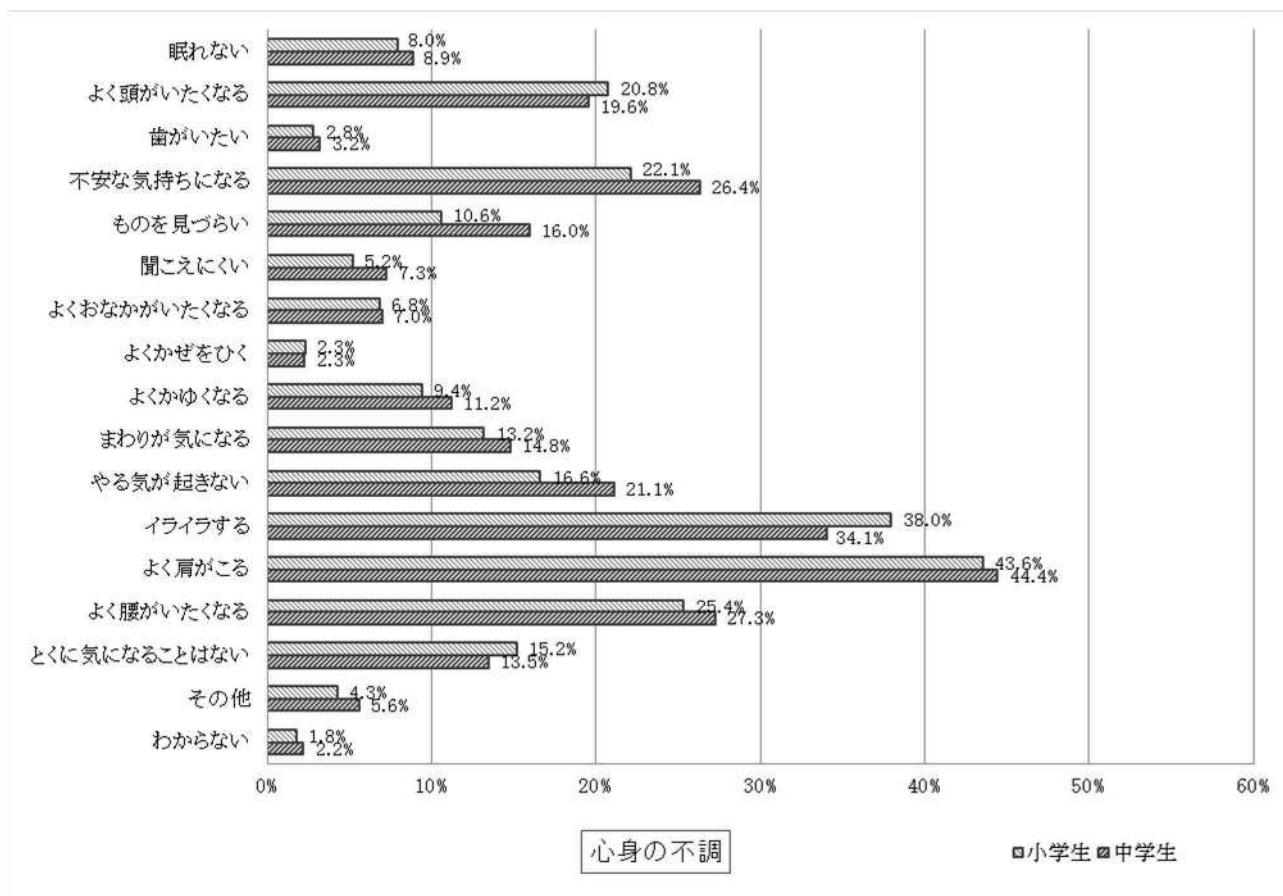
**, 相関係数は 1% 水準で有意(両側)です。

*. 相関係数は 5% 水準で有意(両側)です。

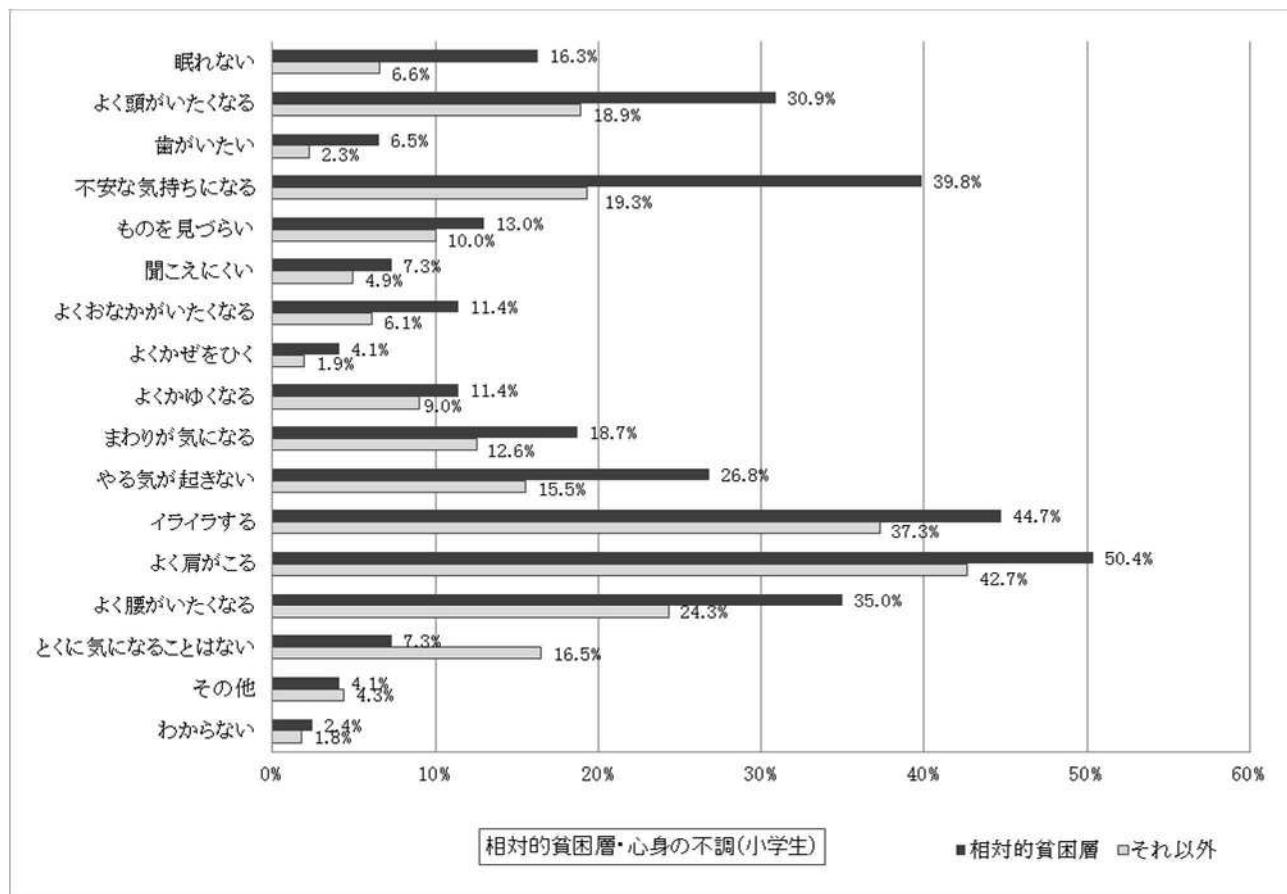
問23 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。(複数回答)

「とくに気にならないことはない」という回答の割合が小学生の保護者で15.2%、中学生の保護者で13.5%であり、8割以上の保護者が何らかの身体や心に関して気になることがあるという結果です。小学生、中学生の保護者とも似たような傾向にあり、気になることが多岐にわたっており、回答で複数の項目を選んだ保護者が少なくないことがわかります。

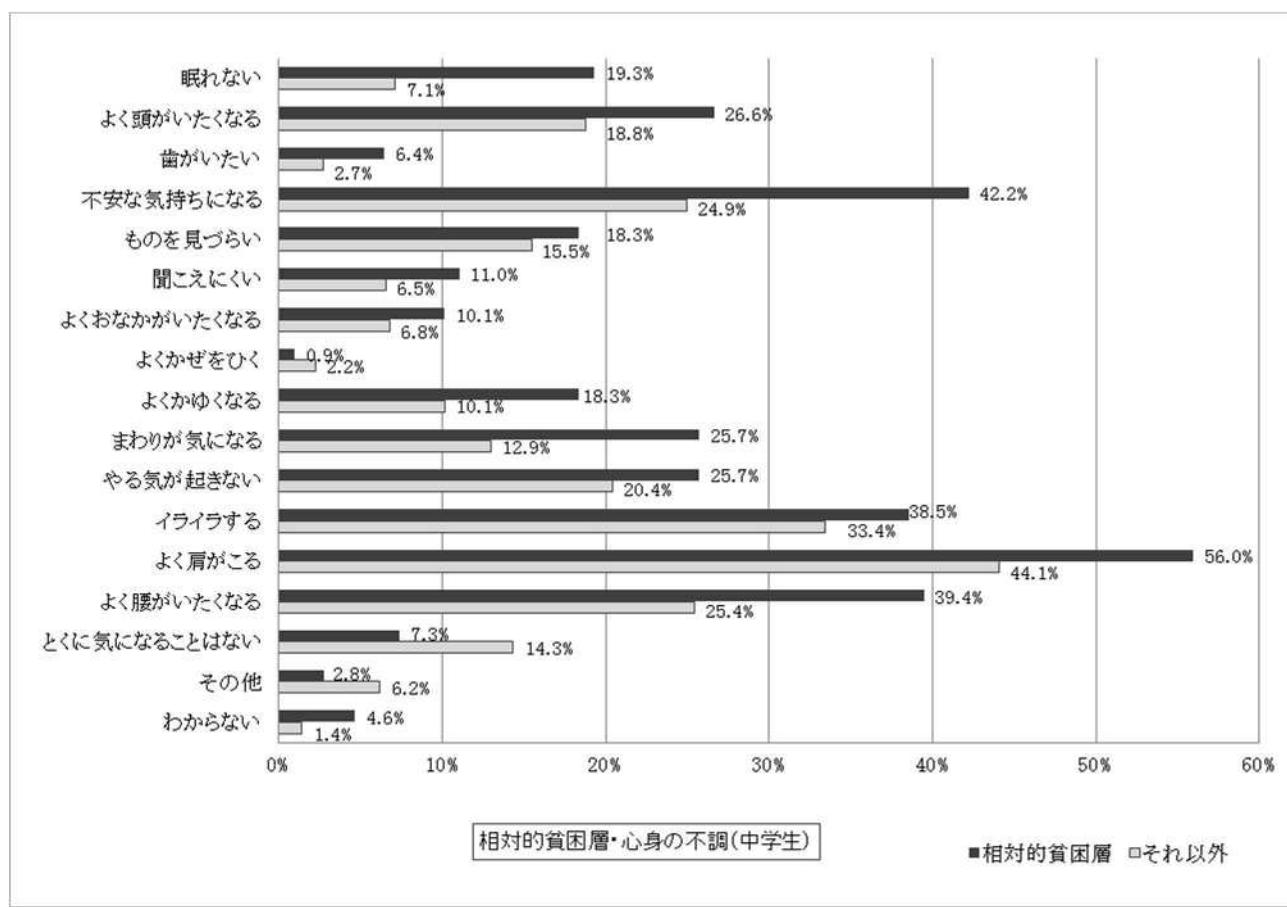
相対的貧困層では、小学生、中学生の保護者とともに「それ以外」に比べて、身体や心に関して気になることがあるという回答が多いという結果です。「不安な気持ちになる」、「眠れない」「まわりが気になる」という回答の割合は「それ以外」に比べて高い傾向があります。また、「とくに気にならない」という回答は低くなっています。



(小学生 N=1522 中学生 N=1089)



(相対的貧困層 N=123 それ以外 N=1242)



(相対的貧困層 N=109 それ以外 N=858)

保護者自身のこと<小括>

はじめて親となった年齢は相対的貧困層では比較的若く、23歳以下が小学生の保護者では3割を超え、中学生でも3割近くに上ります。10代で親となったという回答も7%台で、「それ以外」よりも5~6ポイント高くなっています。また、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、はじめて親になった年齢が若く、10代で親になったという回答が6ポイント高いことがわかります。

困ったときの相談相手として多いのは「配偶者・パートナー」で、次いで多い「自分の親」「近隣に住む知人や友人」はいずれもほぼ4割を超えていましたが、相対的貧困層では小学生、中学生の保護者ともに「自分の親」がもっとも多く、「相談できる相手がいない」という回答が中学生の保護者で1割近くいます。また、「公的機関の相談員」や「民生委員・児童委員」が相談相手としてほとんど上がっていないことも注目されます。「緊急時に子どもを預かったり、助けてくれる人」がいるという回答はほぼ9割ですが、相対的貧困層の中学生の保護者では、そうした人がいないという回答が2割を超えています。

生活を楽しんでいる保護者（「とても楽しんでいる」と「楽しんでいる」の合計）は小学生、中学生とともに7割を超えていましたが、相対的貧困層ではその割合が低くなっています。その傾向は特に中学生的保護者に顕著に見られます。

ストレスを発散できるものがあるかどうかについては、「あるときもあれば、ないときもある」と「ある」という回答で小学生、中学生ともに9割近く、自分が幸せだと思うかどうかについては、肯定的な回答が8割に達していますが、どちらの質問でも、相対的貧困層の保護者は肯定的な回答が低くなっています。

自分の体や気持ちで気になることについては、「よく肩がこる」「イライラする」が多いですが、相対的貧困層では、それらの回答に加え、小学生、中学生の保護者ともに「不安な気持ちになる」という回答の割合が高く、とりわけ中学生の保護者で際立って高いことがわかります。